

M L S C

アマチュア無線クラブ 三河ラブスマイルクラブ 会報

2023年 4・5月合併号

QTC こんにちは、この度会長に再選させていただきました JG2GAT です。4月は総会に多数参加いただきましてありがとうございます。微力なので、たいしたことはできませんが、よろしくおねがいします。／4月に私の母親が体調を壊し入院して今は退院して自宅療養をしております。突然でしたので今は家がごたごたしております。皆様のご要望に応えることがままならないことがありますがよろしくお願ひします。／5月はコロナ感染症が5類になりました。でもコロナに感染しなくなったわけではありません。皆様、気を付けてください。

DE JG2GAT/小嶋

行事等 ・ミーティング：6/10(土)19:30～ 会議室2 (5/13(土)は編集者も都合で欠席、5局ご参加だったとのこと)

・JA2LIF/堀さん交信会：6/3(第1土曜)20～21時 Zoom、439.04MHz 鳥羽市レピータ、145MHzFM (不調時等除く)。Zoom 情報ほか事前連絡はクラブ HP の掲示板を参照下さい。<http://mlsc.dip.jp/member/mlsc.html>

三ヶ根通信ボランティア 4月になってからの経過と計画

DE JA2LIF/堀

○中学生防災通信ボランティア会員募集

4月14日(金)に学校訪問し担当の先生と打合せをし、先ず3回の訓練日を決定した。6月18日(日)、12月3日(日)、3月3日(日)とし、3回とも出席できる生徒ということで5月11日(木)申込期限で募集をスタートした。人数としては各学年10名の計30人位がFBと考えていましたが、この程、学校からメールがあり、3年生11名、2年生10名、1年生6名の27名で訓練を行う事になりました。

○年間計画

5月7日(日)夜、久々にオフ会を開催し話し合った。

- ・前年度事業の反省と会計報告
- ・今年度の計画 ま一、昨年度と同程度の事業となった
- ・中学生訓練の時間数について、2時間程度使うが途中で休憩(放課)を入れてメリハリを付けるようにする。
- ・市総合防災訓練

今年度の実動訓練会場は鶴城中学校であり、幡豆からは直線11.2kmとなり、今までで一番遠くの会場となり、事前の伝搬状況確認が必要となる。

今までアマチュア無線のブースは公開運用として見てもらうだけで体験することはなし。そこで、特小トランシーバを用意しておいて、小中学生等の見学者にPushToTalkでの通信交信を体験してもらう。このような体験を入れたい。

○その他

- ・オフ会をZOOMによるオンライン会にしては、どうか?と提案したが、講義や講演会には適するが、話し合いにはイマイチで、遠方からでも出向いてアイボール会が良いということになった。
- ・「アマチュア無線や電波の楽しさ等を知る・学ぶ体験機会や活用機会の拡大の制度」を中学生の訓練で実施できないかを検討した。実現の方向で計画することになった。

そこで、当方から提案したのは、SDM局とのコラボです。と言うのは、以前SDM局(日進市)が2mFMで簡単なGPAntの西幡豆町の局とのQSOをワッチしたのです。(東幡豆にはキャリアすら確認できず)そこで、中学生とSDM局がPTTで交信をし、遠方と話しが出来る面白さを味わってもらおう。もちろん日程が合わない駄目で、希望者があるかも問題、事前の電波伝搬調査(QSOが可能か?)もあるしですが、打合せをして進めたいです。

(JJ2SDM/高橋より：楽しそうで、是非やりたいです。当局側は固定に拘らずで良いです。事前の伝搬調査も楽しみたいです。通信の手順・内容など事前打合せをしっかりとらせて下さい。)

1 あいさつ

2 2022年度活動報告

- ① クラブミーティング
毎月第2土曜日19:30から21:00 (コロナで8月がありませんでした)
- ② 会報発行
毎月中旬から下旬
- ③ 幡豆図書館へCQ誌寄贈
当クラブの紹介、勧誘付き (BCQ局に全部お願いしました)
- ④ 再免許
- ⑤ 新しいリグの購入
IC-705
- ⑥ 22年度後期総会
参加14局
- ⑦ アンテナ保険加入
- ⑧ クラブのアンテナ点検
参加3局 (LJF局、EGG局、GAT局)
- ⑨ 公民館フェスティバル参加
参加7局

3 2022年度会計報告

① 別紙

4 役員改選

会長 JG2GAT 副会長 JG2JWE 会計 JA2LIF
監査 JR2TRJ 会報 JJ2SDM QSLカード JA2BCQ

5 2023年度活動計画

- ① クラブミーティング
(毎月第2土曜日19:30から)
- ② 会報発行
- ③ 幡豆図書館へCQ誌寄贈
- ④ アンテナ保険加入
- ⑤ 後期総会 (10月)
- ⑥ 文化祭? (公民館が文化交流センターに変わったので予定がわからない)
- ⑦ アンテナ切り替え器購入
- ⑧ 幡豆地区の行事に参加する
(センターの予定を聞いておく)

5 その他

退会 JA2RVP 渡辺悦義さん



MLSC 2022年度会計報告

収入		支出	
前年度繰越金	144,854	公民館使用料(ミーティング)	2,200
会費納入	13,600	公民館使用料(後期総会)	410
入会金	0	公民館使用料(アンテナ点検)	200
		OQ誌購入費	11,880
預金利息	0	電波料料	300
		後期総会飲料水	1,000
		再免許	3,218
		コピー代	920
		アンテナ保険	1,752
		JARL会費	10,800
		封筒代	248
収入合計	158,454	支出合計	32,928

次年度繰越金		繰越現金	
次年度繰越金	125,526	繰越現金(レゾ基金込み)	117,882
		繰越現金	7,644

会費未納 1局12ヶ月 4,800

2022年度分と監査の結果、適正であることと認めます。

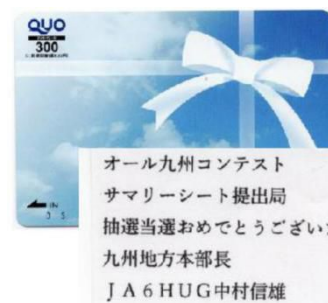
監査 大嶽繁高
JR2TRJ

(編集者より所感) 写真のように各局が参加されました。役員・行事の担い手不足傾向は例年のことですが、役を軽くしたり数を見直す(増も減も)も含めて考えていきたいと思いました。また当局もそういう時期が何度かありましたが、生活の突発時などで苦しい時期はそのことを共有させていただいた上で実際に負担が軽くなるように、年度途中でも柔軟に役割をシェアし直すこと(フランクな会話やお互いの気遣い)が大事だと思いました。一方でクラブの将来像などについて決めていくときは、趣味の会なりにではありますが、定款なども見ながら手続き・ルールとして、結果責任を担う自覚を持って考える必要があるなと感じました次第。自分については、防災ボランティアへの影響等も改めて認識を深める必要があると感じました。複数の選択肢を持って良い議論ができるように、自分からも提案をしていきたいと思いました。当局の場合、1人だけでは続かなそうなことを、MLSCのおかげでいろいろ楽しむことができ28年目になります。編集も、振り返れば楽しいことになるよう、また大変な部分は軽くなるよう、ご相談しながらやってきました。会のためには同じ人が続け過ぎない方が良いかと思う反面、リモートの身としては続けさせていただくことで自分の活動リズムが取れていてありがたいです。無線同様、発信と受信のそれぞれの楽しみがあり、その比率は人によって好みもありますが、自分も含め皆さんの考えや意見が、総会以前に普段の活動の中でもっと出しやすいクラブになれば良いなと思いつつ、当日自分が感じたこと・思ったことを書いてみました。

コンテストで儲けた話

電波法規に出題される定番問題として「アマチュア業務の定義」があります。皆さんご承知のように、「金銭上の利益のためでなく、もっぱら個人的に無線技術に興味を持ち……」と言うヤツですね。ですから、これまで数知れぬほどコンテストに参加し、いくつか入賞してもらえらるは紙の賞状だけで(最近ではPDFで送られてきて、紙のはもらえないこともあります)賞金等はなく、それで当然と思っておりました。ところが最近、その思い込みがひっくり返ることがありました。添付の画像を見ていただければ一目瞭然。なんとQUOカードが九州から送られてきたのです。額面は300円ですがコンテストで得た唯一の「賞金」です。貴重なものなので、使わずに大事にとっておきましょう。

DE JA2BCQ/鈴木



毎年4月第3週は、科学週間として多くの施設で見学行事が開催される。しかしこの所、コロナで中止またはリモート開催となっていた。今年はコロナ対策の状況を見つつかの施設を見学できたのでその一部を紹介する。

茨城県鹿島市平井に位置する情報通信機構（NICT）の宇宙通信技術センター（写真1）に向かった。東京駅八重洲口バス停から、高速バスに乗れば、直接乗り換えなしでセンターに行けるのでとても便利だ。センターの宇宙通信展示館は現在も休館中であり、建物外から眺めるだけとなったのは少し残念だったが、ついでなので仕方がない。幾つかの宇宙通信アンテナ（写真2）を実際に眺めることができたのは嬉しかった。



写真1 本館



写真2 ETS-9用地上局アンテナ



写真3 34mカセグレインアンテナ (2021年撤去)

アンテナ諸元	
形式	カセグレインアンテナ AZ-EL マウント
開口直径	34 m
受信周波帯	L帯: 1.35 - 1.75 GHz
	S帯: 2.19 - 2.35 GHz
	C帯: 4.60 - 5.10 GHz
	X帯: 7.86 - 8.68 GHz
	K帯: 21.8 - 23.8 GHz
送信周波帯	K帯: 31.7 - 33.7 GHz
	Q帯: 42.3 - 44.9 GHz
完成年月	1988年

昭和54年（1979年）に通信・放送衛星機構（TSCJ）が設立された。通信衛星・放送衛星の管理・運用などを行い、平成16年（2004年）に通信総合研究所と統合して情報通信研究機構（NICT）となった。34mカセグレインアンテナの完成した昭和63年（1988年）には通信衛星CS3aがH1ロケットの3号機で打ち上げられている。宇宙開発事業団（NASDA）による3ヶ月間に渡る静止軌道上での衛星点検を完了して、その後、TSCJに引き渡される。通信衛星の追跡管制はTSCJの君津衛星管制センターにて行われているが、旧通信総合研究所が発行していたCRLニュース[1]を見るとその様子がよくわかる。現在は、民間企業（B-SAT 君津衛星管制所）に移管され（？）、放送衛星の追跡管制業務を行なっている。

旧電波研究所において実験用中容量静止通信衛星CSの定常的な実験が昭和53年5月から始まった、その後、CS2、CS3と国産化比率を高める開発が進んでいくことになる。電波研究所季報に掲載された“CSの運用追跡管制実験”[2]は、国産実用衛星を開発して行く上で初期の頃どのような技術を実験して確立していったかよくわかる研究資料となっている。

通信衛星は、データ通信のKバンド、衛星とコマンドやテレメトリデータをやり取りするCバンド、ブロック図には示されていないが円筒の外周に貼り付けられたSバンドオムニアンテナで構成される。34mカセグレインアンテナは、K、C、Sバンド等も含む多くのバンドに対応できるが、ブロック図（図1）には各バンド専用のアンテナが記載されている。CSとの通信には用いられなかった可能性が高いが、実際どうだったのか機会があれば追加で調べてみたい。2021年に撤去され、もう見る事ができないが30年以上にわたって行われたその運用状況が鹿島34mアンテナ2012年2013年2014年年次報告書[3]として公開されている。報告書にはアンテナ保守の状況も記載されている。大型アンテナ保守について知る機会がないので興味深く読むことができた。

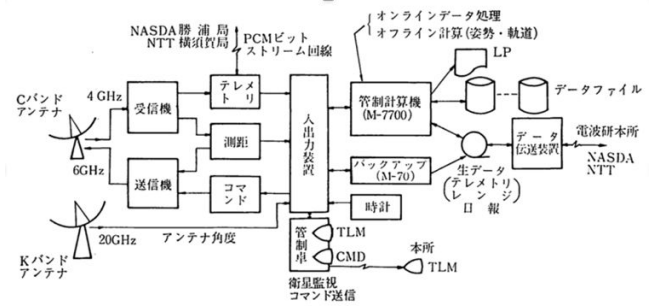


図1 CSの追跡管制システム

最後に、NICTは電磁波研究所の他にも、ネットワーク研究所、サイバーセキュリティ研究所、ユニバーサルコミュニケーション研究所、未来ICT研究所と言った様々な研究が行われている。他の研究成果についても機会があれば覗いてみたい・・・

参考文献

- [1] 山本稔、“君津衛星管制センターの近況”、CRL ニュース No.189、通信・放送衛星機構、1991年12月
https://www.nict.go.jp/publication/CRL_News/back_number/189/189.htm
- [2] 潮見他、“CSの運用追跡管制実験”、電波研究所季報、Vol 26 No.140、Novemberber 1980、pp.805-831
https://www.nict.go.jp/publication/kiho/26/140/Kiho_Vol26_No140_pp805-831.pdf
- [3] 電磁波計測研究所時空標準研究室、“鹿島34mアンテナ2012年2013年2014年年次報告書”、情報通信研究機構、2015年10月30日
https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/34m/antenna-34m/Annual/34m_hakusyo2012-14.pdf

名古屋は金山の電子部品屋さん「RPE パーツ」へ、先のGW 中6~7年ぶりに行ってきました。最近もミーティングで一部の方にご紹介していましたが、以前の会報でも、愛知県の電子部品屋さんをまとめた際に触れていた店です。同軸やアンテナは無いものの、半導体・受動電子部品・各種キット・ハンドツール等では安城ロッキー電子・豊橋タケ無線・碧南フジ計器通信機以上の品揃えで、名鉄でも JR でも行きやすい店です。大須アメ横での電子部品屋さんの閉店が相次いでいる中、もっと利用されても良い店だと思います。10時から19時まで、高齢化に伴う家庭事情などで日曜定休なので注意して下さい。Web や FAX で通販もやってくれます。<http://rpe-parts.co.jp/>

金山駅からは、東口(名鉄駅の、JR と共通でない端っこ)から行くのが最短ですが、南口(名古屋ポストン美術館のあった方)へ出てすぐ左に折れ、東海道線沿いに東へ歩くのが判りやすいです(写真1で手前から奥へ真っ直ぐ続く細い隙間通り)。途中で金山橋南の大きな交差点を渡って道が下りになり、ラブホテルなど過ぎますが、構わず歩きます。歩き始めから5分位、1Fにデイサービスの入ったビルで、3F窓にパーツセンターと表示のあるビルが右手に見えてきます(写真2)。ここがお目当ての建物です。1Fから狭い階段を昇ると(写真3~5)、ドアを開けたら電子部品屋さんです(写真6)。店主は年輩で、とても親切な方です。是非皆さんも行ってみて下さい。

←写真1 ↓写真2 ↓写真3 写真4 ↓ 写真5→
南口 ビル 階段下 階段 踊り場



写真6 店内→

無線界のニュース・情報から

- 23 年度 JARL コンテスト規約一部変更 期間中・終了後に運用情報をアマチュア無線以外で他者に伝える行為の禁止、等 https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/new_rule202212.html
- 3/22 総務省電波利用 HP に「アマチュア無線」の頁を追加(便利です) <https://www.tele.soumu.go.jp/j/others/amateur/index.htm>
- 3/22 「電波の強度に対する安全施設」固定局では保証認定や設備変更時に書類提出必須に <https://www.tele.soumu.go.jp/j/others/amateur/confirmation/safety/index.htm>
- 3/22 記念局の主催者・計画書など厳格に <https://www.tele.soumu.go.jp/j/others/amateur/confirmation/memorial/>
- 5/1 総務省「アマチュア無線の交信体験制度」の頁を更新 https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/ama_experience/index.htm
- 5/11 総務省「一括表示記号(9/25 施行予定)」の頁を追加 <https://www.tele.soumu.go.jp/j/others/amateur/kigo/index.htm>
- 6/18 静岡県西部ハムの祭典 https://www.jarl.com/sizuokaken/doc/pdf/r4nendo/seibuhamnosaiten2022/2023-06_seibuhamnosaiten.pdf

編集後記 ご投稿各局、ありがとうございました。大変お待たせしました。HF ハイバンドが良いようです。引き続き皆さんの投稿をお待ちしています。執筆ご相談・原稿は MHG03427@nifty.ne.jp へ。JJ2SDM 高橋でした。